

精神保健福祉ソーシャルワーク実習

[実習] 第3～4学年 後期～前期 選択 5単位

《履修上の留意事項》この科目を履修するものは、合わせて精神保健福祉ソーシャルワーク実習指導 の履修も必要

《担当者名》 奥田 かおり k-okuda@hoku-iryo-u.ac.jp 橋本 菊次郎 向谷地 生良 鈴木 和

【概要】

現場での配属実習を通して、精神保健福祉領域のソーシャルワーカー（精神保健福祉士）として必要な知識・援助技術・価値態度等を習得する。

【学修目標】

- 1、精神保健福祉援助、障害者等の相談援助に係わる専門知識・技術について実践的に理解し、体得する。
- 2、精神障害者の現状を理解し、その生活実態や生活上の課題について理解する。
- 3、精神保健福祉士として求められている資質、技能、倫理等を理解し、対応できる能力を習得する。
- 4、地域生活支援と関連分野の専門職との連携について実践的に理解する。

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|------|-----------------------|-----------------------------------------------------------------|--------------|
| 第1週目 | 実習 (地域障害者福祉サービス機関) | 利用者、家族等との基本的なコミュニケーションを図り、支援関係の形成について理解する。 施設の経営や管理運営の実際を学ぶ。 | 向谷地、橋本、奥田、鈴木 |
| 第2週目 | 実習 (地域障害者福祉サービス機関) | 基本的知識、実践技術・技能を習得をする。 (権利擁護、多職種連携、アウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用等) | 向谷地、橋本、奥田、鈴木 |
| 第3週目 | 実習 (医療機関) | 患者および家族等との基本的なコミュニケーションを図り、支援関係の形成について理解する。 | 向谷地、橋本、奥田、鈴木 |
| 第4週目 | 実習 (医療機関) | 基本的知識、実践技術・技能を習得する。 (患者、家族への相談援助、入・退院支援、通院援助) | 向谷地、橋本、奥田、鈴木 |
| 第5週目 | 実習 (医療機関) | 基本的知識、実践技術・技能を習得する。 (多職種連携、地域の関係機関との連携、個別支援) | 向谷地、橋本、奥田、鈴木 |

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

実習施設からの評価表40%、実習報告書30%、実習日誌30%

【教科書】

使用しない。

【参考書】

必要に応じて紹介する。

【備考】

実習期間中に担当教員による巡回訪問指導および帰校日指導を行う。

この科目は、精神保健福祉士国家試験受験資格習得のための「精神保健福祉援助実習」に該当する

【学修の準備】

実習日誌、プロセスレコードの記録をつける。実習指導者からの課題、疑問点について調べる。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,1,3,4,5

【実務経験】

向谷地生良（精神保健福祉士）、橋本菊次郎（精神保健福祉士）、奥田かおり（ソーシャルワーカー）、鈴木和（精神保健福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

精神保健福祉士、ソーシャルワーカーとしての実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な教育を行う。